

No.29

2017.4.17

発行編集：日之影町議会報編集委員会

ひまわり
議会だより

「日之影に移住して15年！」
(竹細工職人：小川鉄平氏)

平成29年度一般会計予算	。。。。	P2
病院検討委員会答申書	。。。。	P3
人事案件・条例改正	。。。。	P5
一般質問	。。。。	P7~P8
若者との意見交換会	。。。。	P10

3月定例議会

第1回定例会は、3月2日に開会し、同意2件、議案23件を慎重審議とし原案のとおり同意・可決した。一般質問には3人が登壇し、町長に質問、3月17日に閉会した。

平成29年度 一般会計予算

(株)ひのかげアグリファーム

農作業受託を柱としてスタート!

総額 46億1,500万円 (対前年比 0.5%増)



《(株)ひのかげアグリファーム》



《リニューアル予定の道の駅》

歳出の主なもの

◆ 議会費 (議員報酬・議会運営一般事業費等)	4,976万円
◆ 総務費 (すまいるバス運行委託料・庁舎管理費等)	6億8,255万円
◆ 民生費 (社会福祉協議会補助金等)	8億7,586万円
◆ 衛生費 (保健センター事業費・西臼杵広域行政事務組合負担金等)	4億1,836万円
◆ 農林水産業費 (中山間集落協定・農業法人事業費・青年就農給付金等)	7億3,127万円
◆ 商工費 (道の駅リニューアル業務委託料・温泉駅委託料等)	1億7,001万円
◆ 土木費 (道路新設改良費・町営住宅管理費等)	4億6,504万円
◆ 教育費 (宮水小学校バリアフリー化事業費・スクールバス運行委託料等)	3億1,275万円
◆ 公債費 (借入償還金)	5億9,888万円

■ 予算審査特別委員会 ■ 委員長報告

一般会計当初予算については、前年より0・5%増の46億1,500万円で編成されており、厳しい財政状況下では一定の評価をするものである。限られた財源を重点的、効果的な配分に努めながら、7項目の重点施策の実現に向けて取り組むことは言うまでもなく、世界農業遺産及び認定が確実視されるユネスコエコパークと併せ、森林セラピーを運動して地方創生にどの様にいかし、繋げていくかが重要な課題の一つである。また他に先がけて設立した、株式会社ひのかげアグリファームの健全な運営が図られるよう努められると共に、委託料の分野別検証も望むものである。

町立病院については、国・県の新たな動向を注視しながら、財政シミュレーションを図る事が特に肝要であります。予算の健全な執行にあたっては、あくまでも町民目線・町民ファーストであります。行政・議会共々、更には職員の意識の高揚とアイデア・先見力を期待するものであります。



《ユネスコエコパーク登録予定地内の傾山》

■ 行政報告 ■ 病院検討委員会答申書(抜粋)

当面、町民の安心・安全のよりどころである町立病院は残すべきである。併せて、西臼杵3町での協議を踏まえ、広域的に運営するのか、町単独か、診療所に規模縮小するのか等々、最も相応しい経営形態のあり方について十分検証を行い、総合的に判断する必要がある。

そして、町立病院が町民の生活に密着し、かつ真に町民に愛され親しまれる医療機関として存続することを願っています。

総括質疑

新年度の方針を問う！

■ 総務文教常任委員会

問 行財政運営については、道の駅の整備、農業法人運営等、今後の財政・改革・基金運用について伺う。

町長 日本経済は暖かな回復基調が続いているが、中山間地域については、その効果は見られず、人口減により交付税の減など厳しい状況が続いている。有利な起債の運用、基金の活用等事業の投資効果も勘案しながら、効率的な行財政運営に努める。

問 社会福祉の充実については「地域包括ケアシステム」の構築を図るとの事ですが、事業の内容について伺う。

町長 高齢者一人一人に応じたプランを作成し、社協・保健センター・医療機関が連携して買い物弱者の支援、介護サービス、生活支援サービスの充実に努めます。

また、2025年には団塊世代の方が、75才以上になることから、「地域包括ケアシステム」の構築を図ります。

問 子育て支援環境の整備については、新たに産後検診と聴覚検査を予定しているとの方針だが、事業の内容について伺う。

町長 「子育て応援基金」を活用して、中学校修了までの医療費助成、保育料の軽減、不妊治療費の助成、出産祝い金等の助成を行う。新たに産後2週間・1ヶ月の検診及び新生児の聴覚検査を実施することで、早期治療による乳幼児の支援を行います。

問 今年度末に完成する防災計画の、災害時における要支援者の避難誘導について伺う。

町長 要支援者の名簿作成・伝達・誘導、防災訓練を通じて地域消防団・関係機関と連携し防災意識の向上に努めてまいります。

問 病院経営については、年次計画をもって遅くとも30年度末には当院の役割を明確にすべきと思うが所見を伺う。

町長 将来の人口減少と高齢化による需要の減少、増大の影響をふまえて病床数の見直し等の検討を行い、関係機関と協議を進めながら検討していきたい。

問 今年度は新たに非常勤講師の配置をし、ソフト面の充実を図るとあるが、目標及び他校との違いをどの様にだせるのか伺う。

教育長 教員の出張時に教科指導に教員免許を持つ非常勤講師を配置することで、公務の分担が出来るので学校教育の充実に努めていく。

問 青年団の活動が停滞しているが、現状を伺う。

教育長 現在32名の団員で構成され、昨年度は熊本地震のボランティア、各イベントでの餅つき、竹灯籠の作成、福祉まつり等に参加している。今後も活動を支援していきたい。

経済建設常任委員会

問 空き店舗の活用など、商工会

の「まちづくり懇談会」との具体的な取り組みは。

町長 現在3〜4件の相談があった。課題として家と敷地の所有者が違うということもあるので商工会と連携して進めていく。

問 合併浄化槽の設置推進について。

町長 29年度は八戸地区下水排水路840m設置し、合併処理浄化槽の設置を勧めていきたい。

問 今後の森林セラピー事業は、どのような形で生かしていく考えか。

町長 先進地である長野県信濃町での研修、及び案内人の養成を行い世界農業遺産とユネスコエコパークとの連携を図りながら進めていく。

問 林地等を保全するための効果のある治山施設の整備の計画について伺う。

町長 復旧治山、予防治山、国と県

の事業で29年度は6カ所予定。

問 循環型林業の構築に向けたシステムの検討を進めるとあるが、町の取り組みを伺う。

町長 中国木材等の進出により、伐採率が非常に高くなっている。町でも植林・下刈り・間伐等に補助金を出し、また林家の苗木生産者とも協力、苗木不足の解消に努めていく。

問 国道・県道とつながる町道・林道・農道の整備について伺う。

町長 九州中央道は順調に進んでいる。日之影〜蔵田間の要望をしていく。町道・林道・農道についても計画的に整備していきたい。

問 農業の6次産業化を推進し、新たな雇用の場を確保する仕事の創出とは具体的に伺う。

町長 自分の作った物を、加工し付加価値を付けていき販売することであり、特産品開発セミナーなどにより進めていく。

■同意2件

- 1、西臼杵郡公平員に高千穂町の須藤美津子氏に再任に同意。
- 2、固定資産評価委員会委員に平田武利氏を再任に同意。

■諮問1件

- 1、人権擁護委員に中内泰男氏を再任に同意。

■条例の改正8件

- 1、日之影町男女共同参画推進条例の制定。
- 2、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正。
- 3、地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例。
- 4、日之影町税条例等の一部を改正する条例。
- 5、日之影町道路占有料徴収条例の一部を改正する条例。
- 6、日之影町介護保険条例の一部を改正する条例。
- 7、日之影町個人情報保護条例の一部を改正する条例。
- 8、日之影町企業立地促進条例の一部を改正する条例。



意見書

■発議1号・受動喫煙防止対策の強化措置に関する意見書

- 1、飲食店等のサービス業を営む事業者への措置について、十分に配慮したものとすること。
- 2、飲食店等のサービス業については、店舗の実態や利用者のニーズ等を考慮した支援制度の創設など、受動喫煙防止対策の内容を検討する。

■発議2号・資源循環型林業の確立による地方創生の実現を求める意見書

- 1、造林・間伐等、森林資源の循環利用を支えるために必要な森林整備予算及び治山予算を十分に確保すること。
- 2、新たな木材需要を創出するための施策を強力に推進すること。
- 3、CLT（直交集成板）を活用した建築物の整備促進など需要拡大を図るための対策を強化すること。
- 4、「森林環境税（仮称）」を早期に実現し、地方財源措置の充実強化を図ること。

■発議3号・地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方議会では、無投票当選が増加の傾向となり地方議員のなり手不足が大きな問題となっている。地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにするのが議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議員の厚生年金制度加入のための法整備を要望する。

平成28年度 一般会計補正予算(第6号)

一般会計 歳入歳出補正額 Δ 2億3,822万円減額
補正後の総額 51億6,422万円



《日之影町国民健康保険病院》



《ふるさと起業応援事業を活用した移動販売車》

歳出の主なもの

◆ 総務費 (ケーブルネットワーク運用管理費等)	Δ 426万円減額
◆ 民生費 (施設型給付費扶助費等)	Δ 1,538万円減額
◆ 衛生費 (病院事業会計繰出金等)	5,928万円追加
◆ 農林水産業費 (森林整備地域活動支援交付金事業補助金等)	Δ 4,424万円減額
◆ 商工費 (ふるさと起業応援事業補助金(10件等))	165万円追加
◆ 土木費 (町道改良事業等29年度へ繰越分)	Δ 3,644万円減額
◆ 消防費 (消防団員報酬等)	Δ 133万円減額
◆ 災害復旧費 (現年発生土木災害復旧事業等) (新年度の過年災で執行)	Δ 1億9,685万円減額
◆ 諸支出金 (ふるさと応援基金積立金)	530万円追加

一 般 質 問



飯干 静香
議員



《大人・しもじゆう直売所前交差点》

《防犯灯街路灯の整備
状況と歩車分離式信
号機の設置について
問う》

問 新年度の各集落からの
要望箇所は。

町長 柱からの設置3基、灯具のみ設置1基、LEDの切り替え6基、申込書の提出に基づき、全て予算化し補助金の交付を行っています。

問 照明度の点検状況は。

町長 各集落で維持管理出来るものについては集落で対応し、高所な場所については、町に相談していただいた上で、特殊作業などで対応している。

問 「県道向山日之影線大人工区入口周辺4差路と新日之影間の防犯灯・街灯また歩車分離式の信号機の設置は無理か。

町長 県道の改良工事も済み、道路状況が良くなったことで、大型車も増加してきてしている。4差路周辺にはスマイルバスの停留所・野菜直売所があることから高齢者の通行、小中学生の通学路集合場所となっていることから、照明灯・信号機の安全対策は。

町長 西日杵支庁との協議では、通行量の基準からすると該

当をしない。

地理的条件と多額の工事費を要する為、設置は厳しいものと考えているが、通学路の安全については教育委員会でも検討中。

今後は、県と合同で通学路の点検を行い、関係機関に要望を行いたい。

《「匠の里」の活性化について問う》

国道218号線の通過路線にある施設をもっとアピールしてみているか。

問 現在の利用状況は。

町長 毎週夜4回の陶芸教室や生涯学習講座、小学校の陶芸体験、公民館・森林セラピーの研修や体験等に利用されている。竹細工保存会が月1回の教室を開催されている。

問 各種団体の活用は出来ないか。

町長 伝統文化の継承を図り、観光と交流を促進する施設なので活発に利用されることを望

んでいるし、利用促進に努めていく。

問 イベントの計画はないか。

町長 町主催のイベントの計画はないが、2月に「わら細工たくぼ」による第1回ワークショップ、9月には陶芸教室の展示会が計画されている。

問 広場周辺に四季折々の花木類の植栽をしては。

町長 国道から一段高い敷地になるため、車の出入りに際しての安全確認ができるよう配慮が必要と考えているが、環境美化については検討していく。



《国道沿いの匠の里》



甲斐陸彦
議員



《地域でまとまる住民のみなさん》

《「地域活性化」について》

企業版ふる里納税について認識を伺う。

問 企業版ふる里納税が本格的に動き出し、今年度から新たな森林セラピー事業「働く女性向けのセラピーツアー」保養協定企業の取り込み」を掲げる本町にとって追い風ではないか。

町長 本町では、制度説明会や事前相談会に職員が出席し協議を行なったが基本目標や重要行政（KPI）に効果の高い事業で認められた事業でなければならず申請を見送っている。

《職員によるプロポーザル(提案)方式事業の導入の考えは》

問 日之影町訓令第1号に定める「日之影町職員提案規程」によって現代社会を感じ取った職員の新しいアイデアを導入した事業がこれからの地域活性化の鍵ともいえるが。

町長 提案は毎年、予算編成前に期間を定め募集しており、この五ヶ年で16件の職員提案を戴き町単独事業の施策に反映している。

問 提案はプレゼン後の「検証」「実行」「継続」が大事ではないか、更に今年度は8名の幹部職員の退職、更に向こう5年で22名の退職者の予定で機能の衰退や停滞が予想される、職員の底上げを含めて是非取り組

んではいかがか。

町長 職員の退職者の増加には危惧しており、職員研修など重ねスキルアップに努める。



明輝水一
議員



《平底癒しの森運動公園》

《癒しの森運動公園の更なる充実を》

問 平底癒しの森運動公園は、景観・利便性・安全性共に

申し分なく、まだまだ開発の余地があると思うが見解を伺う。

町長 当地区は、事前に県知事と協議し許可を受けなければ予定建築以外の建築物や工作物を建築又は設置できない。再開発については、長期的な視野にたつて計画をしっかり策定する必要があると考えている。

問 予定建築の住宅について問う。

町長 開発行為の建築住宅予定戸数は、全体で29戸で、現在までに20戸を建設している。水防工事が始まり臨時的に仮設住宅を9戸建築しております。今後も住宅建設について検討していきたい。

問 今後の計画は？

町長 人口減少を抑制するためにも住環境の整備は必要不可欠である。民間活力を生かした住宅建設も視野に入れながら再開発に向けた構想を検討してまいります。

調査報告

■総務文教常任委員会

住民参加型の行政を みんなで！

1、民間住宅（グランシャリオ椎谷）について

グランシャリオ椎谷は、町の補助金を受け建築され1棟8戸の町内唯一の民間住宅である。人口減対策に貢献できるものと期待するところである。



《グランシャリオ椎谷》

2、保健センター（地域包括・検診事業について）

高齢化の進展、介護保険の見直し、包括支援の役割は大きくなってきている。一人暮らしの生活環境は多様化しており、きめ細やかなリサーチが必要となる。検診事業については、社保との検診情報との共有化と検診率の向上・効率化に努力を求める。

3、町立病院（病院経営について）

病院経営については、右肩下がり、の極めて厳しい状況にあり、財政繰出し金も増加している。診療所への移行も視野に検証・決断の時期にきている。

4、社会福祉協議会（買い物支援・生活支援サービス事業について）

買い物支援事業は、買い物弱者にとつては命綱であり、安心して暮らせる処方箋でもある。サロン時の利用者も多く、引き続きニーズに応じた事業展開を願う。「おたすけ2680」では、利用者18名会員143名の登録があり支援を行っている。役割職員の登録も多く、県内で

も類を見ない取り組みであり、更なる啓発活動に努めていただきたい。



《生活支援サービス事業》

■経済建設常任委員会

未来の農業に 一歩前進！ 若者に期待！

1、青年就農給付事業について

この事業は、平成24年度から開始され、26歳から45歳までの方が対象で、既に3名の方が終了され新規就農者1名を含め8名の方が給付を受けている。この制度に基づき、農業青年の就

農意欲の喚起と、就農支援後の定着を図り、JAや普及所など関係機関と連携を密にしながらモデル農家として所得向上に繋がることを大いに期待する。

2、和牛放牧予定地調査について

今回は、鹿川地区の繁殖農家を視察。クヌギ林を伐採し約2haの緩やかな傾斜地に谷川も流れており放牧に適した環境にある。放牧事業にあつては、労力の軽減・コスト削減・ストレス解消・受精率の向上などを考えたときには条件適合地であれば、事業推進を期待するものである。



《放牧予定地》

若者とひざをまじえて！

◆若者との意見交換会

今回若者との意見交換会に多くのご参加有り難うございました。当日は議員定数の件、病院、農林業振興、学校関係等、多種多様な御意見・要望・提案等を頂きました。皆様に「来た甲斐があった」と思ってもらえるために、またより多くの発話を得ることができるよう、交換会の場面を更に、今後検討・工夫する必要があると反省もしています。

この事業を通して、少しでも明日の「日之影を良くする」ために貢献できたらと思っております。今後とも皆様のご理解とご参加をよろしくお願い致します。



■ 表紙紹介 ■



【小川鉄平氏プロフィール】

平成13年5月に日之影に移住。
竹細工職人飯干五男氏にかるい作りを習い、竹細工職人となる。
平成28年4月より本町の移住定住支援コーディネーターに就任され、

移住相談・空家情報の収集を行われています。現在3人の子供さんにも恵まれ、仕事・育児・子育てに忙しい毎日です。

議会傍聴のご案内

次回の定例会は6月です。皆様の傍聴をお待ちしております。

また、議会に対するご意見等お聞かせ下さい。

♣お問い合わせ
議会事務局 87-3908

編集後記

天神山では、つつじが今年も赤いジュータンを敷き詰め躍動を感じる中、新年度を迎え四つの小学校と日之影中学校に於いても初々しい新一年生が誕生しました。

さて、平成29年度第1回定例会も3月2日から16日間の日程で17日に閉会しました。本年度から「株式会社ひのかげアグリファーム」も本格稼働となり、農作業の受委託等、あらゆる農業問題のハード・ソフト面の対応を期待するものであります。今年度も町民・行政・議会一丸となって「持続可能な中山間づくり」に取り組んでいきましょう。

甲斐 睦彦

発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 一水輝明
副委員長 甲斐睦彦
委員 佐保満男
委員 河野學